職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可	[年月日	校	長名			所在地			
大原簿記公務員		平成16年			木剛	〒 (住所)	190-0014 東京都立川市緑町4番	番−8			
祉保育専門学校: 設置者名		設立認可	年月日	代表	表者名	(電話)	042-528-8023	所在地			
学校法人大原:		昭和54年			本 年彦	〒 (住所)	101-0065 東京都千代田区西神				
			- 1771 - Д			(電話)	03-3292-6266		左	啦 **中 2 3	5.明钿 和 初 宁 左 东
分野		忍定課程名		認定学科 公務員学			門士認定年度 19年文部科学省	高度専門士認定	平及		専門課程認定年度
文化·教養	X1L	・教養専門課程		(消防官コー			認定			平凡2	28年2月19日 ———————
学科の目的		法律および行政 成を目的とする。	こ関係する専	門教育を施し、	、公務員として	求められる	、一般教養の知識、法律	津の知識、行政の知識	、ビジネスス	スキルなどを	修得し、自立した社
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		検初級・高卒程度 数養力検定。	試験の事務系	職種の合格を	を目的とし、教	養科目を学	習する。取得可能な資格	fについては、日本ビジ	ジネス技能	検定協会が3	主催する漢字検定
修業年限	昼夜	全課程の修了に	必要な総授業 単位数	美時数又は総	講	義	演習	実習	実馬	験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位し かに記入	_{ਤੱੈ} 1,7	00 単位時間 単位	1,635	単位時間単位	1,892 単位時間 単位	750 単位時間		単位時間単位	0 単位時間
生徒総定員	生徒男	€員(A) 留	学生数(生徒実	員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率	-			
312 人	164	Д.		0 人	() %	3 %				
	■卒業者		:	125		<u>۲</u>	-				
	■就職希 ■就職者	望者数 (D) 数 (E)	:	114 114		人					
	■地元就	職者数(F)		64		人	-				
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就!	战者の割合 (F	100 (/E)		%	-				
				56		%					
		こ占める就職者の	割台 (E/C)	91		%					
就職等の状況	■進学者 ■その他	数		9		Ž	-				
	アルバイト	-2名									
	(令和	5 年度2	公業者に関する	令和6年5月	1 日時点の情報	₽)					
		職先、業界等	жичж/ «	11110 1 071	1 H () //() / ()	h.)					
	(令和5年度										
	(令和5年度		務員など								
	(令和5年度 各種国家 ■民間の	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から	第三者評価	:							
お一日による	(令和5年度 各種国家 ■民間の	^{卒業生)} 公務員、地方公	第三者評価	:							
第三者による 学校評価	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から	第三者評価	:	受審年月:			m結果を掲載した -ムページURL			
学校評価	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい	第三者評価	:	受審年月:			価結果を掲載した −ムページURL			
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい	第三者評価 いて任意記載		受審年月:						
学校評価 当該学科の	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s	第三者評価 いて任意記載		受審年月:						
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から 、例えば以下につい 評価団体: wo-hara.ac.jp/s	第三者評価 いて任意記載		受審年月:				1.700	M. LL nt BB	
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から 、例えば以下につい 評価団体: wwo-hara.ac.jp/s 時間による算定 総授業時数	第三者評価 Nで任意記載 enmon/schoo	I/tachikawa/						単位時間	
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から 、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s 時間による算定 総授業時数 うち:	第三者評価 で任意記載 enmon/schoo	I/tachikawa/ レた実験・実習	冒・実技の授美				60 1	単位時間	
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につけま 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s お授業時数 うち。	第三者評価 で任意記載 enmon/schoo	I/tachikawa/	冒・実技の授美				60 I	単位時間	
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につけま 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s お授業時数 うち。	第三者評価 NT任意記載 enmon/schoo と業等と連携 と業等と連携	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業	冒・実技の授 乳 戦時数	修時数	*-		60 i 15 i 508 i	単位時間単位時間単位時間	
ポーロによる 学校評価 当該学科の ホームページ	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につけま 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/s お授業時数 うち。	第三者評価 NT任意記載 enmon/schoo 主業等と連携 主業等と連携 の修授業時数	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した	習・実技の授業 美時数 二必修の実験・	実習・実技	*-		60 i 15 i 508 i	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	
# 学校評価 当該学科の ホームページ URL	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: wwo-hara.ac.ip/s にはる算定 総授業時数 うち: うち:	第三者評価 NTC任意記載 enmon/schoo 主業等と連携 主業等と連携 うち企動 うち企動	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した 楽等と連携した	習・実技の授業	集 音数 実習・実技 受業時数	*-		60 ± 15 ± 508 ± 0 ± 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
デーな評価 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	(令和5年度 各種国家 ■民間の ※有の場合	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: wwo-hara.ac.ip/s にはる算定 総授業時数 うち: うち:	第三者評価 NTC任意記載 enmon/schoo 主業等と連携 主業等と連携 うち企動 うち企動	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した	習・実技の授業	集 音数 実習・実技 受業時数	*-		60 ± 15 ± 508 ± 0 ± 0	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: www.o-hara.ac.ip/s 時間による算定 総授業時数 うち: うち:	第三者評価 NTC任意記載 enmon/schoo 主業等と連携 主業等と連携 うち企動 うち企動	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した 楽等と連携した	習・実技の授業	集 音数 実習・実技 受業時数	*-		60 ± 15 ± 508 ± 0 ± 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
デーな評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携したた実習等の実施状況	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につい 評価団体: wwo-hara.ac.ip/s にはる算定 総授業時数 うち: うち:	第三者評価 NTC任意記載 enmon/schoo 主業等と連携 主業等と連携 うち企動 うち企動	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した 楽等と連携した	習・実技の授業	集 音数 実習・実技 受業時数	*-		60 i	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から、例えば以下につけます。 例えば以下につけます。 「時間による算定・ 総授業時数 うち: うち: うち: ※数による算定) 総単位数	第三者評価 NT任意記載 Panmon/schoo 主業等と連携 を楽等と連携 が修授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業 楽等と連携した 楽等と連携した	留・実技の授業 集時数 =必修の実験・ =必修の演習の -ンシップの抗	実習・実技)授業時数 受業時数)	*-		60 1 15 1 508 1 0 1 0 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT任意記載 Panmon/schoo 主業等と連携 を楽等と連携 が修授業時数 うち企業 うち企ま ち企業等と連携	I/tachikawa/ した実験・実習 した演習の授業	留・実技の授業 集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの打	実習・実技)授業時数 受業時数)	*-		60 i	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT任意記載 Panmon/schoo 主業等と連携 を楽等と連携 が修授業時数 うち企業 うち企ま ち企業等と連携	/tachikawa/ した実験・実置 した演習の授業 と連携した まりと連携したインター したインター	留・実技の授業 集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの打	実習・実技)授業時数 受業時数)	*-		60 g 15 g 508 g 0 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT任意記載 Anmon/schoo An	/tachikawa/ した実験・実置 した演習の授業 と連携した まりと連携したインター したインター	習・実技の授業 美時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの担 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実技 授業時数 授業時数) 立数	ボーの授業時数		60 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位 中位時間 単位 中位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT 任意記載 Annon/schoo 主業等と連携 を楽等と連携 が修授業時数 うち企ま うち企ま を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携 を楽等と連携	/tachikawa/ した実験・実置 した演習の授業 と連携した ま、と連携した ま、と、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	習・実技の授業 実時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の こンシップの担 で、実技の単位 立数	実習・実技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実技	ボーの授業時数		60 J 15 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 O J	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位 中 位 中 位 中 位 中 位 中 位 中 位 中 位 中 位 位 中 位 位 中 位 位 中 位 位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT 任意記載 An Manage A	/tachikawa/ した実験・実置 した演習の授業 と連携した ま等と連携した まずしたインター した実験・実置 した演習の単位 よりに演習の単位 まずと連携した	留・実技の授業 集時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの担 ・ 実技の単位 立数 - 必修の実験・ - 必修の実験・	実習・実技 授業時数) 立数 実習・実技 単位数	ボーの授業時数		60 J 15 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単位 中位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT 任意記載 An Manage A	I/tachikawa/ した実験・実習 と連携した ま等と連携したインター た実験・実習 にた演習の単位 ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した	留・実技の授業 集時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの担 ・ 実技の単位 立数 - 必修の実験・ - 必修の実験・	実習・実技 授業時数) 立数 実習・実技 単位数	ボーの授業時数		60 J 15 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単位 中位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 NT 任意記載 An Manage A	I/tachikawa/ した実験・実習 と連携した ま等と連携したインター た実験・実習 にた演習の単位 ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した	留・実技の授業 集時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの担 ・ 実技の単位 立数 - 必修の実験・ - 必修の実験・	実習・実技 授業時数) 立数 実習・実技 単位数	の授業時数		60 J 15 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単位 中位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位	卒業生)	第三者評価 第三者評価 第一者記載 第一年記載 2 本 第 と 連携。 多 を と 連携。 多 を 全 企 主 を と 連携。 多 を 全 企 主 と 連携。 多 を 企 主 を と 連携。 多 を 企 主 を と 連携。 の ち 企 主 を と 連携。 の ち 企 主 を と 連携。	I/tachikawa/ した実験・実置 とた演習の授業 と連携した 変響を連携したインター した実験・実置 にたって と連携した を実際と連携した でで に大きなあった。	留・実技の授業 集時数 上必修の実験・ 上必修の演習の 一ンシップの担 必修の実験・ 企必修の演習の 一ンシップの が 必修の実験・ で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技)授業時数) 立数 実習 ・実技)単位数	の授業時数	-AベージUR L	60 J 15 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中間 単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
・ 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれの)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ***(A : 単位		第三者評価 Paramon/schoo 主業等と連携 が修授業等とと連携 うち企業 等とと連携 うち企業 等とと連携 うち企業 等とと連携 うちと連携 うちと連携 を発 のを する のでである。 「関係である。」 「「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」 「「 「	I/tachikawa/ した実験・実置 とた演習の授業 と連携した 変響を連携したインター した実験・実置 にたって と連携した を実際と連携した でで に大きなあった。	留・実技の授業 集時数 上必修の実験・ 上必修の演習の 一ンシップの担 必修の実験・ 企必修の演習の 一ンシップの が 必修の実験・ で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技)授業時数)受業時数 立数 実単位数 (専修等	の授業時数	ネ(号)	60 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位時間 単位 位時間 単位 位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
R 学 学 A の ボーム C まで	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************		第三者評価 Paramon/school **********************************	I/tachikawa/ した実験・実置 とた演習の授業 と連携した 変響を連携したインター した実験・実置 にたって と連携した を実際と連携した でで に大きなあった。	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技)授業時数) 支業時数) 立数 実習・実技 単位数 (専修号	ホー の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項領	ボルジURL 第1号)	60 J 508 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位 位 時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単	
を ・ 学科の ・ ボームページ ・ URL ・ 当該 サイベージ ・ URL ・ で実等等のいたに、 ・ でまる。 ・ 企実等、BI入) ・ に記入) ・ を表して、ででまる。 ・ できる。 ・ できる。	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************	卒業生)	第三者評価 Paramon/school 主業等と連携(を楽等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とを修りが、 方ち企業を修りが、 「まずり、 「まずり、」 「まず	I/tachikawa/ した実験・実習 を連携した に演習の授業 と連携したインター した演習の は実験・実理 とはまます。 には、	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技 受業時数) 支援業時数) 支援業時数) (専修等 (専修等 (専修等	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号)	60 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位時間 単位 中 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	
R 学校 学校 学校 学校 学校 学校 学校 学校 学科の ホーム URL と実 選携 した況 に記入)	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************		第三者評価 Paramon/school 主業等と連携(を楽等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とを修りが、 方ち企業を修りが、 「まずり、 「まずり、」 「まず	I/tachikawa/ した実験・実習 を連携した に演習の授業 と連携したインター した演習の は実験・実理 とはまます。 には、	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技 受業時数) 支業時数) 支数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号)	60 J 508 J 00 J 00 J 00 J 00 J 00 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 位時間 単位 位 中間 単位 位 位 中間 単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 人 人 人 人 人 人 人 人	
を ・ 学科の ・ ボームページ ・ URL ・ 当該 サイベージ ・ URL ・ で実等等のいたに、 ・ でまる。 ・ 企実等、BI入) ・ に記入) ・ を表して、ででまる。 ・ できる。 ・ できる。	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************	卒業生) 卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から 評価(関係) 評価(財産) (時間による算定) 総理位数 (うちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょう	第三者評価 Paramon/school 主業等と連携(を楽等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とを修りが、 方ち企業を修りが、 「まずり、 「まずり、」 「まず	I/tachikawa/ した実験・実習 を連携した に演習の授業 と連携したインター した演習の は実験・実理 とはまます。 には、	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技 受業時数) 支業時数) 支数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号)	60 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 上単位位 中間 上単位位 上単単位 上単単位 上	
を ・ 学科の ・ ボームページ ・ URL ・ 当該 サイベージ ・ URL ・ で実等等のいたに、 ・ でまる。 ・ 企実等、BI入) ・ に記入) ・ を表して、ででまる。 ・ できる。 ・ できる。	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************		第三者評価 Paramon/school 主業等と連携(を楽等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とを修りが、 方ち企業を修りが、 「まずり、 「まずり、」 「まず	I/tachikawa/ した実験・実習 を連携した に演習の授業 と連携したインター した演習の は実験・実理 とはまます。 には、	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技 受業時数) 支業時数) 支数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号)	60 J 508 J 00 J 00 J 00 J 00 J 00 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 上単位位 中間 上単位位 上単単位 上単単位 上	
を ・ 学科の ・ ボームページ ・ URL ・ 当該 サイベージ ・ URL ・ で実等等のいたに、 ・ でまる。 ・ 企実等、BI入) ・ に記入) ・ を表して、ででまる。 ・ できる。 ・ できる。	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************	卒業生) 卒業生) 公務員、地方公 評価機関等から 評価(関係) 評価(財産) (時間による算定) 総理位数 (うちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょうちょう	第三者評価 Paramon/school 主業等と連携(を楽等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とと連携(方ち企業等とを修りが、 方ち企業を修りが、 「まずり、 「まずり、」 「まず	I/tachikawa/ した実験・実習 を連携した に演習の授業 と連携したインター した演習の は実験・実理 とはまます。 には、	電・実技の授業 と必修の実験・ の必修の実験・ のがをのするが、 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のがある。 のでは、 ので	実習・実技 受業時数) 支業時数) 支数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表数 の表	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号)	60 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 上単位位 中間 上単位位 上単単位 上単単位 上	
を ・ 学科の ・ ボームページ ・ URL ・ 当該 サイベージ ・ URL ・ で実等等のいたに、 ・ でまる。 ・ 企実等、BI入) ・ に記入) ・ を表して、ででまる。 ・ できる。 ・ できる。	(令和5年度 各種国家 ■民間の場合 ************************************		第三者評価 第三者評価 第二者評価 第二者記載 「本書記載 「本書記述 「本記述 「本記述 「本記述 「本記述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本記述述 「本述述述 「本述述述 「本述述述 「本述述述 「本述述述 「本述述述述 「本述述述 「本述述述述 「記述述述	I/tachikawa/ した実験・実授・実行したた実験での選携した・演習を連携した・実験での携携した・実験での携携したと実験である。これにより、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	留・実技の授業 は時数 一必修の実験・ 一ンシップの担 のをの実験・ ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	実習・実技受業時数) 実著時数) 之数 実単位数) (専修等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	ボー の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第 や校設置基準第41条第1項第	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	60 J 508 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0 J 0	単位 中華 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である国家公務員・地方自治体に関する有識者である大学や企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を習得した即戦力となる人材を育成する。
- ②法律行政分野における学修の中心となる法律、基礎教養力、計数能力、トレーニングは勿論のこと、行政の仕組み、コミュニケーション技術や職種別専門知識などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き、学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置付けについて
- 教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置付ける。また、委員会での協議結果は教育課程編成にも活用していく。
- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年8月31日現在

<i>h</i> →-	-		14-01
名 前	所属	任期	種別
鈴木 剛	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
穂積 浩之	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
福島 智恵子	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	
岩本 勝利	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	
市坪 泰成	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	
本橋 秀敏	羽村市役所	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	1
渡貫 泰央	立川市役所	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月4日 14:00~15:10

第2回 令和5年12月5日 15:00~16:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①今年度の教育課程編成委員会にあたり、第1回委員会を開催。コロナ禍を経験したこれまでと気質の異なる学生対応や 指導方法、専門学校に求められるIT教育の具体的な内容などの情報を提供していただいた。
- ②委員の意見に基づきカリキュラム・教材及び実習内容の改定を進める。また、羽村市との連携授業に関するカリキュラ
- ム・教材及び運営面について、昨年度の課題を明確化し、本年度の運営に落とし込む為の具体的な話し合いが行われた。
- ③上記②の状況を第2回委員会にて報告。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①法律行政分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、また、医療実習部署、実習内容学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業・医療機関等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

法律、経済、行政のしくみ、授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向 上のために連携している。

- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携	企	業	等	
	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	行政上の諸問題について、羽村市職員の指導の下、地方自治体の具体的な取り組み内容を学習し専門的知識を習得する。実習はグループ単位で行い、実社会で必要な協調性や責任性を身に付ける。プレゼンテーション発表会を実施し、有職者から客観的評価をいただき思考能力と表現能力を養う。	東京都羽村市				

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

なお、教員は『教職員研修規定』に則って研修等を受講することが定められている。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 公務員の服務と倫理 連携企業等: 公務人材開発協会

期間: 令和5年12月7日(木) 対象: 当学科教員

内容 公務員の服務規程に関する講演

研修名: 消防官の職務と求められる資質 連携企業等:株式会社タフジャパン

期間: 令和5年12月13日(水) 対象: 当学科教員

内容 公安職の現場で求められる資質と学校に期待する指導に関する研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 職場におけるコミュニケーションとヒアリングスキルについて 連携企業等: アクサ生命保険株式会社

期間: 令和5年12月21日(木) 対象: 当学科教員

内容 コミュニケーションの基本を学び、ヒアリングスキル向上を目指す

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 公務員の服務と倫理 連携企業等: 公務人材開発協会

期間: 令和6年12月中旬 対象: 当学科教員

内容 公務員の服務規程に関する講演

研修名: 公安職の職場で求められる資質 連携企業等:株式会社タフジャパン

期間: 令和6年12月中旬 対象: 当学科教員

内容 公安職の現場で求められる資質と学校に期待する指導に関する研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: やる気を引き出すモチベーションアップ術について 連携企業等:アクサ生命保険株式会社

期間: 令和6年12月 対象: 当学科教員

内容学生のやる気を引き出す方法だけでなく、自己のモチベーション管理にも焦点を当てていく

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っ ているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人
(3)教育活動	付子村の教育日保、育成人物像は、その子科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に関する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。

	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

「就職率」「中途退学者への対応」について、学生の将来に資する「教育・指導」につながる助言を頂き、メンタルヘルスケアやスクールカウンセリングなどの活用を検討している。また、コミュニケーションカ向上に資するための、ボランティア活動など社会環境にふれる機会をつくり、より多くの社会経験を積み重ねることで、学生の多角的な視野の向上等を図り、学生の希望する就職につながる取り組みをしていきたい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
鈴木 剛	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
穂積 浩之	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
福島 智恵子	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
岩本 勝利	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
渡邊 俊彦	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	_
中村 真	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	
小笠原 長清	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校	-	
小山 均	小山均税理士事務所	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
相原 佳代子	医療法人社団桐光会 調布病院	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
岡田 尚久	一般社団法人 IT産業懇話会 共同コンピュータ株式会社	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
玉城 新		令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
天沼 暢浩	日本エルダリーケアサービス なごみ在宅介護サービス	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委員
渡貫 泰央	立川市役所	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
竹之内 茜	A to E	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
塚原 桜	A to E	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
東翔	(株)グッドライフ	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	卒業生

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成するこ とである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っ ているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、 課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標·方針·特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格 ③卒業生の進路
(3)教職員	各学科の担当教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事②クラブ活動
(6)学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7)学生納付金·修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の募集
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

令和6年10月4日 公表時期:

授業科目等の概要

	文化・教養専門課程 公務員学科(消防官コース)								- \+	18	=r	₩ L	_			
		選択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演	実験・実習・実		校外	事 任	兼	企業等との連携
1	0			基礎数的 I 数的推理	速度や仕事算など数的分野の基礎的な解法 の習得	1 前 期	52	2	0			0		0		
2	0			基 礎 数 的 Ⅱ 判断推理	命題や対応表など判断分野の基礎的な解法 の習得	1 前 期	36	2	0			0		0		
3	0			基 礎 数 的 Ⅲ 空間把握・資 料解釈	面積や展開図など図形分野の基礎的な解法 の習得	1 前 期	44	2	0			0		0		
4	0			基礎社会科学 I 政治	憲法や統治機構など政治分野の基礎的な知 識の習得	1 前 期	32	2	0			0		0		
5	0			基礎社会科学 Ⅱ 経済	貿易や為替など経済分野の基礎的な知識の 習得	1 前 期	26	1	0			0		0		
6	0			基礎社会科学 Ⅲ 社会	集団の形成など社会分野の基礎的な知識の 習得	1 前 期	15	1	0			0		0		
7	0			基礎人文科 学 I 地理	気候や産業など地理分野の基礎的な知識 の習得	1 後期	24	1	0			0		0		
8	0			基礎人文科 学Ⅱ 日本 史	奈良から現代までの日本史の基礎的な知 識の習得	1 後期	28	1	0			0		0		
9	0			基礎言語 I 文理・国語	文法などの国語分野の基礎的な知識と文 章読解力の習得	1 前 期	15	1	0			0		0		
10	0			基礎演習 V 知能系科目 総合	知能科目全般について、問題演習の繰り 返しによる得点力強化	1 前 期	60	2		0		0		0		
11	0			総合教養演習 I 基礎教養	一般教養科目の基礎的な知識を答練練習 形式で強化	1 前 期	56	2		0		0		0		
12	0			一般教養 I	漢字やことわざなど一般教養の中でも特に 国語力の習得	1 前 期	30	1		0		0		0		
13			0	基礎自然科学 I 生物	遺伝や細胞など生物分野の基礎的な知識の 習得	1 後期	20	1	0			0		0		

14		0	基礎自然科学 Ⅱ 地学	地層や大気など地学分野の基礎的な知識の 習得	1 後期	16	1	0			0	0		
15		0	基礎自然科学 Ⅲ 物理	電気や力学など物理分野の基礎的な知識の 習得	1 後 期	16	1	0			0	0		
16		0	基礎自然科学 Ⅳ 化学	原子や化学反応など化学分野の基礎的な知 識の習得	1 後期	16	1	0			0	0		
17		0	基 礎 言語 Ⅱ 英語	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の 習得	1 後期	15	1	0			0	0		
18		0	基 礎 演 習 I 数的処理	数的分野全般について、基礎的な問題演習 による得点力強化	1 後期	40	2		0		0	0		
19			基 礎 演 習 Ⅱ 社会科学	政治・経済分野の基礎的な問題演習による 得点力強化	1 後期	28	1		0		0	0		
20		0	基 礎 演 習 Ⅲ 人文科学	地理・歴史分野の基礎的な問題演習による 得点力強化	1 後期	28	1		0		0	0		
21		0	基 礎 演 習 Ⅳ 自然科学	自然科学分野の基礎的な問題演習による得 点力強化	1 後 期	20	1		0		0	0		
22		0	基 礎 演 習 VI 知識系科目総 合		1 後期	60	2		0		0	0		
23		0	総合教養演習 Ⅱ 実践教養	一般教養科目のより高度な知識を答練練習 形式で強化	1 後 期	56	2		0		0	0		
24		0	一般教養Ⅱ	漢字やことわざなど一般教養の中でも特に 国語力の習得	1 後期	30	1		0		0	0		
25		0	キャリアデザ イン I	就職試験を見据えた面接スキルの習得(立ち居振る舞い、身だしなみなど)	1 後 期	30	1		0		0	0		
26		0	トレーニング 実習	トレーニング方法や公安職で求められる資 質などを幅広く学ぶ	1 後期	30	1			0	0	0		
27		0	職業実務I	地方公務員の職務に関する知識や心構えな どを有識者から学ぶ	1 後期	15	1		0		0		0	0
28		0	職業実務Ⅱ	警察官の職務に関する知識や心構えなどを 有識者から学ぶ	1 後期	15	1		0		0		0	

29		0	職業実務Ⅲ	国家公務員の職務に関する知識や心構えな どを有識者から学ぶ	1 後期	15	1		0	0			0	
30		0	上級数的処理	数的分野全般のより高度な解法の習得	1 後期	60	2	0		0		0		
31		0	上級人文科学	人文科学分野全般の総合的な知識の習得	1 後期	50	2	0		0		0		
32		0	上級自然科学	自然科学分野全般の総合的な知識の習得	1 後期	28	1	0		0		0		
33		0	憲法	憲法に関する専門的な知識の習得	1 前 期	52	2	0		0		0		
34		0	民法	民法に関する専門的な知識の習得	1 後期	68	3	0		0	-	0		
35		0	行政法	行政法に関する専門的な知識の習得	1 後期	60	2	0		0		0		
36		0	政治学	政治学に関する専門的な知識の習得	1 後期	24	1	0		0		0		
37		0	行政学	行政学に関する専門的な知識の習得	1 後 期	24	1	0		0		0		
38		0	ミクロ経済学	ミクロ経済学に関する専門的な知識の習得	1 前 期	48	2	0		0	,	0		
39		0	マクロ経済学	マクロ経済学に関する専門的な知識の習得	1 後期	52	2	0		0	,	0		
40		0	財政学	財政学に関する専門的な知識の習得	1 後期	24	1	0		0	,	0		
41		0	社会学	社会学に関する専門的な知識の習得	1 後期	24	1	0		0		0		
42		0	会計学	会計学に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0		0		0		
43		0	社会事情	社会事情に関する専門的な知識の習得	1 後 期	15	1	0		0	,	0		

44		0	経済事情	経済事情に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0			0		0		
45		0	国際関係	国際関係に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0			0		0		
46		0	経営学	経営学に関する専門的な知識の習得	1 後 期	15	1	0			0		0		
47		0	教育学	教育学に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0			0		0		
48		0	心理学	心理学に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0			0		0		
49		0	商法	商法に関する専門的な知識の習得	1 後期	15	1	0			0		0		
50		0	公務員就職試 験対策 I	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	1 後期	30	1		0		0		0		
51		0	ビジネス教養 I	電卓技能や一般教養問題演習による総合的 なビジネススキルの習得	1 後期	30	1		0		0		0		
52		0	ビジネス文書 作成	WORDによるビジネス文書作成の基礎知識の 習得	1 後期	30	1	0			0		0		
53		0	公務員キャリ アデザイン I	就職試験を見据えた面接スキルの習得 (職種研究など)	1 後期	90	3		0		0		0		
54		0	職業実務Ⅳ	消防官の職務に関する知識や心構えなどを 有識者から学ぶ	1 後期	15	1		0		0			0	
55		0	職業実務Ⅴ	国家公安職の職務に関する知識や心構えな どを有識者から学ぶ	1 後期	15	1		0		0			0	
56		0	公 共 ボ ラ ン ティア実習 I	ボランティアの知識を学び、実際に参加す ることでその理解を深める	1 後期	30	1			0		0	0		
57		0	Excel基礎	MOS:Excel授業	1 後期	60	2			0	0		0		
58		0	Word基礎	MOS:Word授業	1 後期	60	2			0	0		0		

															٦
59				IT パスポー ト・リテラシ 演習	情報技術知識の習得	1 後 期	30	1		0		0	0		
60			0	ITリテラシ	情報リテラシ基礎の習得	1 後期	30	1	0			0	0		
61			0	販売知識基礎	リテールマーケティング [*] 3級	1 後期	90	3	0			0	0		
62			0	販売知識応用	リテールマーケティング* 3級	1 後 期	90	3	0			0	0		
63			0	色彩基礎 I	AFT色彩	1 後期	60	2	0			0	0		
64			0	キャリアデザ インⅡ	就職対策(実践)	1 後期	30	1		0		0	0		
65			0	流通キャリア デザイン I	販売実習(通年)	1 後期	30	1			0	0	0		
66			0	流通キャリ アデザイン Ⅱ	販売実習(通年)	1 後期	30	1			0	0	0		
67	0			ビジネスマナー	敬語や接遇、電話応対などの基礎的なビジ ネスマナーの習得	2 後期	60	2			0	0	0		
68	0			パソコン実習 I	WORDやEXCELの知識を学び、実践することで ビジネススキルとして習得する	2 後期	30	1			0	0	0		
69		0		公官庁講話	様々な職種の現役公務員の講話を聴講し職 務理解を深める	2 前期	20	1	0			0		0	
70		0		公務員倫理	公務員の服務規定について学び、公務員と しての在り方を学ぶ	2 後期	15	1		0		0		0	
71		0		マーケティン グ概論	座学マーケティング	2 後期	60	2	0			0	0		
72		0		マーケティン グ基礎	座学マーケティング	2 後期	60	2	0			0	0		
73		0		卒業研究・発 表	卒検資料作成・発表	2 後期	150	5			0	0	0		

74		기	基礎人文科学 Ⅲ 東洋史・ 近代史	中国王朝史とヴェルサイユ体制以降の世界 史の知識の習得	2 前期	16	1	0		0	(0	
75		기	基礎人文科学 Ⅳ 古代史・ 西洋史	四大文明から第一次大戦までの世界史の知識の習得	2 前期	18	1	0		0	(0	
76		٦l	基礎人文科学 V 倫理・文 学・芸術	西洋および東洋の思想と芸術に関する基礎 的な知識の習得	2 前期	16	1	0		0	(0	
77	C	기	基礎自然科学 V 理数科目 総合	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	2 前 期	20	1	0		0		0	
78	C	5	基礎数学 I	関数や代数など数学分野の基礎的な知識の 習得	2 前期	16	1	0		0		0	
79			応 用 演 習 I 数的処理	数的分野全般について、より高度な問題演 習による応用力強化	2 前期	24	1		0	0		0	
80			応 用 演 習 Ⅱ 社会科学	政治・経済分野について、より高度な問題 演習による応用力強化	2 前期	28	1		0	0		0	
81			応 用 演 習 Ⅲ 人文科学	地理・歴史分野について、より高度な問題 演習による応用力強化	2 前期	30	1		0	0		0	
82			応 用 演 習 Ⅳ 自然科学	自然科学分野について、より高度な問題演習による応用力強化	2 前期	16	1		0	0	•	0	
83		0	応 用 演 習 V 数的処理本試 験対策	数的分野全般について、更なる問題演習に よる試験直前の応用力強化	2 前期	24	1		0	0	•	0	
84		0	総合答案練習 I	本試験形式の基礎的な問題演習と解説による総合的な知識の定着	2 前期	84	3		0	0	•	0	
85		0	総合答案練習 Ⅱ	本試験形式の基礎的な問題演習と解説による総合的な知識の定着	2 前期	48	2		0	0	•	0	
86		5	実践答案練習 I	本試験形式の基礎から応用までの問題演習 と解説による総合的な知識の定着	2 前期	48	2		0	0		0	
87		Э	直前答案練習 I	本試験形式の本試験レベルの問題演習と解 説によるより高い得点力定着	2 前期	180	6		0	0	(0	
88		5	直前答案練習 Ⅱ	本試験形式の本試験レベルの問題演習と解 説によるより高い得点力定着	2 前期	102	4		0	0		0	

89		0	公務員時事対 策	公務員試験に出題される時事の基本知識を 学び得点力を強化	2 前 期	30	1	0			0		0		
90		0	公務員時事研 究	公務員として知っておくべき時事的知識を 学び考察することでより深い知識を習得	2 前 期	30	2		0		0		0		
91		0	公務員就職試 験対策 Ⅱ	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	2 前期	30	1		0		0		0		
92		0	キャリアデザ インⅡ	就職試験を見据えた面接スキルの習得(自己分析、自己PRなど)	2 前 期	30	1		0		0		0		
93		0	公務員キャリ アデザインⅡ	公務員の二次試験を踏まえた実践的な面接 の練習	2 後期	120	4		0		0		0		
94		0	公務員適性検 査演習 I	国家公務員試験の適性試験対策として、問 題演習による得点力の強化	2 前 期	60	2		0		0		0		
95		0		公務員初級試験を見据えての文章作成スキ ルの習得	2 前 期	30	2		0		0		0		
96		0	公 共 ボ ラ ン ティア実習 Ⅱ	ボランティアの知識を学び、実際に参加することでその理解を深める	2 通年	30	1			0		0	0		
97		0	法律研究	法律を学び、知識の習得と共にリーガルマ インドを身に付ける	2 後期	30	1			0	0			0	0
98		0	行政研究	災害など身近な問題に対する行政の取り組 みを学び研究することで理解を深める	2 後期	30	1			0	0			0	0
99		0	一般教養Ⅱ	漢字、数学、社会等	2 通年	30	1		0		0		0		
100		0	ビジネス教養 Ⅱ	電卓	2 通年	30	1		0		0		0		
101		0	コミュニケー ション概論	グループワーク	2 前 期	30	1		0		0		0		
102		0	キャリアデザ インⅢ	就職ガイドブック・ノートブック	2 前 期	30	1		0		0		0		
103		0	英会話入門	語学:英会話	2 前 期	30	1		0		0		0		

104	0	経営法務入門	法律:労働基準法・民法	2 前期	30	1		0		0		0	
105	0	コミュニケー ション実践	問題解決のための思考	2 前 期	30	1		0		0		0	
106	0	文化リテラ シーⅢ	日本文化を理解する(知る)	2 後期	30	1		0		0		0	
107	0	パソコン実習 II	Excel演習(通年)	2 通 年	30	1			0	0		0	
108	0	パソコン実習皿	Word・Exce I 操作 復習	2 後期	30	1			0	0		0	
109	0	パソコン実 習IV	Word・Exce I ビジネスフォーマット	2 後期	30	1			0	0		0	
110	0	英会話基礎	語学:英会話	2 前期	30	1		0		0		0	
111	0	時事	共通編・職種別時事	2 後期	30	1	0			0		0	
112	0	販売職 ビジネスマナー	接遇・接客職編	2 後期	90	3			0	0		0	
113	0	経営管理入門	経営学 (BANTO)	2 後期	60	2	0			0		0	
	合	計	113	科	目			-	4, 277	単位	立(肖	单位時	間)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件:	学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。校長は本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 ・公務員学科 1,700時間(62単位)	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	・学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。 ・授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。(単位の授与)・授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。	1 学期の授業期間	22 週

- (留意事項)
 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。